

# 「地盤品質判定士」資格制度のご案内

## ■ 試験問題例

### ■ 一次試験

#### 「宅地の造成」2014年度試験問題

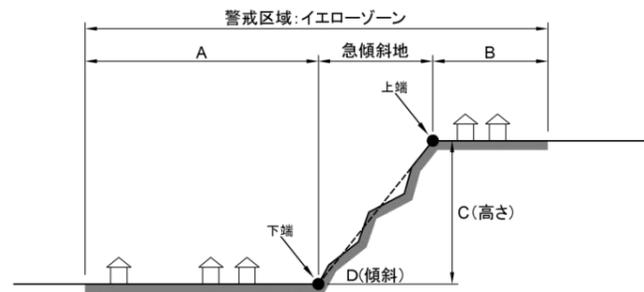
設問 8. 宅地造成等規制法の政令で定める技術的基準のうち、地盤に対して講ずる措置に関する記述について、次の選択肢から不適切なものを一つ選べ。

- (1) 切土又は盛土をする場合においては、崖の上端に続く地盤面には崖方向に雨水その他の地表水が流れるように勾配をつける。
- (2) 切土をした後の地盤にすべり易い土質の層があるときは、地すべり抑止杭又はグラウンドアンカーその他の土留めの設置、土の置換えその他の措置を行う。
- (3) 盛土をした後の地盤に雨水その他の地表水又は地下水の浸透による緩み、沈下、崩壊又はすべりが生じないように、概ね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、かつ、その層の土を盛る毎に、これをローラやこれに類する建設機械を用いて締め固める。
- (4) 著しく傾斜している土地に盛土をする場合には、境界がすべり面とならないように段切りその他の措置を行う。

#### 「土砂災害」サンプル問題

設問 下図は、土砂災害防止法の急傾斜地に係る土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）の設定方法を示したものである。次の選択肢から不適切なものを一つ選べ。

- (1) Aは、斜面下端から斜面高さの2倍で、50mを超える場合は50mとする。
- (2) Bは、10m
- (3) Cの斜面高さは、10m以上
- (4) Dの斜面傾斜は、30°以上



### ■ 二次試験

#### 「地盤の液状化」2014年度試験問題

埋立地からなる宅地（面積は約100m<sup>2</sup>）に、2階建ての戸建住宅を新築することを計画している人から、地盤の液状化の可能性について相談を受けた。以下の問いに答えよ。

- (1) 2011年の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）において、東京湾岸の埋立地で広範に地盤の液状化が発生した。その特徴から得られた液状化の判定に係る知見について300字程度で論ぜよ。
- (2) 小規模建築物基礎設計指針に基づいて簡易な液状化検討を行うこととし、経済性を考慮してスウェーデン式サウンディング試験（SWS試験）を敷地内で実施した。このSWS試験及びその結果に基づく簡易な液状化判定法の特徴と留意点について400字程度で論ぜよ。
- (3) 上問(2)の結果から、地盤の液状化が地表面に影響を及ぼす可能性があることが判明した。そこで、液状化対策を検討することになったが、経済的な制約により、地盤の液状化そのものを防止する抜本的な対策を採用することはできない。よって、地盤が液状化したとしても、住宅の損傷を軽微なものに抑制する、あるいは傾斜した建物を容易に修復できるようにする簡易な対策を選定する必要がある。具体的な対策工法を3つ挙げ、それらの特徴が分かるように図示するとともに300字程度で論ぜよ。なお、図は答案用紙の図表記載欄に記載することとする。

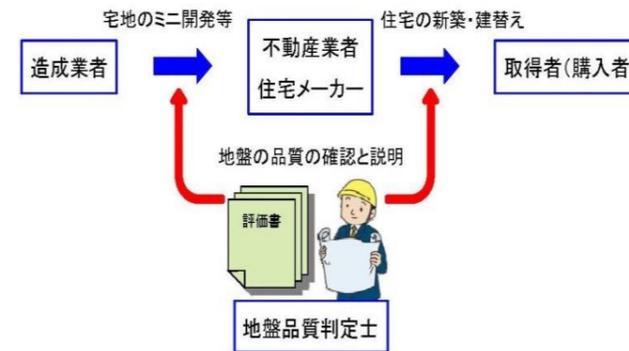
注意：小問(3)の回答では図が必須となっている。図は図表記載欄に記載し、文字数には含まれない。

## ■ 地盤品質判定士とは

東日本大震災では、埋立地の液状化や丘陵地の盛土や擁壁の崩壊等によって数多くの宅地が被災してしまいました。この教訓を活かし、宅地における地盤災害の防止や軽減を推進するため、地盤工学の専門知識と倫理観を有する技術者が、地盤の品質を確認し説明する業務において幅広く活躍することが求められています。

2013年2月4日に設立された地盤品質判定士協議会は、土木工学・建築工学分野や不動産・住宅関連産業に従事する地盤技術者を対象に、地盤品質判定士の資格制度を創設しました。地盤品質判定士は、宅地の造成業者、不動産業者、住宅メーカー、住宅及び宅地の取得者（購入者）の間に立ち、地盤の評価（品質の判定）に関わる調査・試験の立案、調査結果に基づく適切な評価と説明および対策工の提案等を行ないます。地盤品質判定士並びに地盤品質判定士協議会は、広く社会に貢献することを目指します。

### ■ 地盤品質判定士の業務のイメージ



### ■ 受験対象者の例

- 土木工学・建築工学分野の地盤を扱う技術者
- 不動産・住宅関連産業に従事する地盤に関する技術者

### ■ 地盤品質判定士に求められる能力

- 地盤品質を判定できる基礎的な知識とその応用力
- 技術者倫理
- 宅地の造成、土砂災害に関わる法制度
- 地質・地形・地盤の調査、土砂災害
- 住宅等（小規模建築物）の基礎
- 地盤の液状化
- 盛土・切土と擁壁の安定性
- 地盤改良
- 地盤品質を適正に判定できる十分な経験と技術力
- 地盤の液状化、基礎の支持力と沈下、盛土・切土と擁壁の安定性

## ■ 東日本大震災が提起したこと

● 埋立地 → 地盤の液状化



● 丘陵地 → 盛土・擁壁の崩壊



対象	土木構造物 大規模な建築物	宅地 戸建て住宅
所有者	公的機関 大きな民間組織	一般の市民
被害	皆無ないし軽微	地盤の液状化 盛土・擁壁の崩壊
特徴	●最新の基準類を整備 ●適切に耐震診断及び耐震補強 ●組織内の地盤技術者の存在	●災害を防ぐ仕組みの欠如 ●耐震診断や対策の不実施 ●地盤技術者のサポートの欠如



## 地盤品質判定士協議会

The Japanese Association for Geotechnical Evaluation

協議会構成団体：(公社)地盤工学会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)地盤保証検査協会、(NPO)住宅地盤品質協会、(公社)土木学会、(一社)日本建築学会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)全国土木施工管理技士会連合会、(公社)日本不動産鑑定士協会連合会

【問い合わせ先】協議会事務局

〒112-0011 東京都文京区千石4丁目38番2号 (公社)地盤工学会 JGS 会館内

E-mail : jage@jiban.or.jp

Tel.03-3946-8766, Fax.03-3946-8678

URL : <https://www.jiban.or.jp/jage/>



(2017年4月26日版)

## ■会長の挨拶

### ■ 地盤品質判定士の資質向上

2016年6月から東畑会長のあとを受け、地盤品質判定士協会第三代会長を拝命しました村上 章です。宜しくお申し上げます。会長所信では、地盤品質判定士に関わる講習会・技術者教育を充実させることとして、地盤品質判定士補や判定士取得の補助となる講習会・実務補習の整備を掲げました。こうした継続学習は、公益目的にも適うもので、社会におけるインセンティブの付与を推進します。さらには、地震被災地域における宅地被災者の地盤相談窓口を設置するなど、地盤品質判定士の積極的支援により、各地で発生する地盤工学的諸問題の解決に向けた活動の展開を図りたいと考えています。各位のご支援を賜りますよう、重ねてお申し上げます。



地盤品質判定士協会 会長 村上 章  
(公社)地盤工学会 会長

## ■ 試験制度の概要

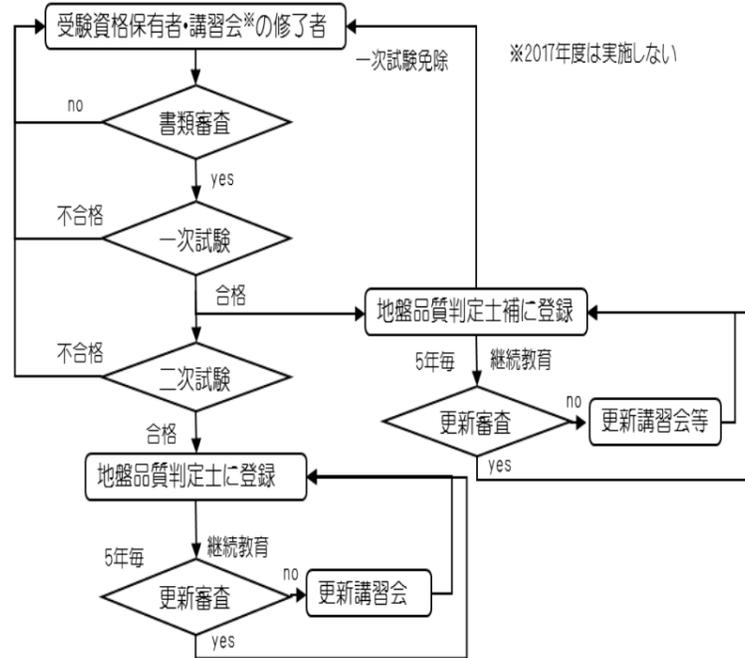
### ■ 地盤品質判定士検定試験の仕組み

この資格制度では、2種類の資格(「地盤品質判定士」と「地盤品質判定士補」)を設けています。受験には、原則として、①協会が定める資格の保有者であること、または、②経験と学歴を有し、かつ講習会の修了者であることが必要です。ただし、第5回となる2017年度の検定試験では、①の協会が定める資格の保有者のみとします。

検定試験に合格した者は、「地盤品質判定士」または「地盤品質判定士補」に登録することができます。また、自己研鑽(継続研鑽, CPD)を実施していることを前提に、5年毎に資格を更新することができます。なお、CPDポイントが不足する場合には、協会が指定する更新講習会等の受講が必要となります。

● **地盤品質判定士** (一次試験と二次試験の合格かつ登録者): 地盤の評価(品質の判定)ができる専門的な知識と十分な経験及び高度な技術力を有する者。評価書を発行できる。

● **地盤品質判定士補** (一次試験の合格かつ登録者): 地盤の評価(品質の判定)に必要な基礎的な知識と経験を有する者。



## ■2017年度試験のご案内

### ■協会が定める受験要件としての資格

資格の名称	資格区分・分野等	試験の実施機関	資格の認定機関
技術士	建設部門：土質及び基礎	(公社)日本技術士会	文部科学省
	応用理学部門：地質、地球物理及び地球化学		
建築士	一級	(公財)建築技術教育普及センター	国土交通省
	二級、木造	(公財)建築技術教育普及センター	都道府県
不動産鑑定士	—	国土交通省	
土木施工管理技士	一級	(一財)全国建設研修センター	国土交通省
土木学会認定土木技術者	特別上級・上級・一級(資格分野：地盤・基礎)	(公社)土木学会	
地質調査技士	現場調査部門、現場技術・管理部門、土壌地下水汚染部門	(一社)全国地質調査業協会連合会	
RCCM	地質部門、土質及び基礎部門	(一社)建設コンサルタンツ協会	
地盤検査技士	一級	(一社)地盤保証検査協会	
住宅地盤主任技士	調査部門、設計施工部門	(NPO)住宅地盤品質協会	

### ■ 受験料と資格登録料

受験区分	受験料(税込)
一次試験のみ	10,000円
一次試験・二次試験	17,000円
二次試験のみ(補登録者)	13,000円

資格区分	登録料(税込)
地盤品質判定士	13,000円
地盤品質判定士補	10,000円

### ■ 試験の内容

試験区分	試験方法	問題の技術分野
一次試験	多肢択一式 50問 2時間	技術者倫理
		宅地の造成、土砂災害に関わる法制度
		地質・地形・地盤の調査、土砂災害
		住宅等(小規模建築物)の基礎
		地盤の液状化
二次試験	記述式 3問 3時間	盛土・切土と擁壁の安定性
		地盤の液状化
		基礎の支持力と沈下

### ■ 過去の出願者数と合格・登録者数

年度	2013	2014	2015	2016	延累計	
出願者数	1,474	658	448	298	—	
合格・登録者数	地盤品質判定士	383	156	156	106	881
	地盤品質判定士補	243	84	84	33	274

注：補から士への登録変更があるため補の累計は合わない

### ■ 地盤品質判定士の受験に役立つ参考書例の紹介

書名	著者・編者	発行所	発行年月	備考
地盤品質判定士倫理綱領及び同解説	地盤品質判定士協会	地盤品質判定士協会	2014.2	協会 Web-site
地盤調査の方法と解説	地盤工学会	地盤工学会	2013.3	
宅地地盤調査マニュアル 2014	全国地質調査業協会連合会	全国地質調査業協会連合会	2014.4	
住宅地盤調査の基礎と実務—地盤を見る—	住宅地盤品質協会	住宅地盤品質協会	2014.9	
建築基礎構造設計指針	日本建築学会	日本建築学会	2001.10	
小規模建築物基礎設計指針	日本建築学会	日本建築学会	2008.2.	
宅地防災マニュアルの解説[第二次改訂版]	宅地防災研究会	ぎょうせい	2007.12	
液状化から戸建て住宅を守るための手引き	地盤工学会関東支部	地盤工学会関東支部	2013.5	
土砂災害防止法の概要	国土交通省	国土交通省	—	国土交通省 Web-site
知っておきたい斜面のはなし—斜面と暮らす	土木学会	土木学会	2005.12	
土木技術者倫理問題—考え方と事例解説II—	土木学会	土木学会	2010.6	
大規模盛土造成地の変動予測調査ガイドラインの解説	国土交通省	国土交通省	2008.2	国土交通省 Web-site
2015年版 建築物の構造関係技術基準解説書	国土交通省国総研・他監修	全国官報販売協同組合	2015.6	
改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針	日本建築センター	日本建築センター	2012.11	

注：出題範囲を上記の参考書に限定していません。

### ■ 試験スケジュール

